

HANKYU こどもカレッジ 2025 出展報告

1. イベント概要

事業名：HANKYU こどもカレッジ

出展プログラム名：光の不思議を発見！キラキラ万華鏡を作ろう！

日時：2025年8月3日（日）10:00～17:00

会場：川西阪急スクエア びいふう広場

対象：小学生とその保護者

参加者数：101組

2. 出展内容

本プログラムは「光」をテーマにした体験型ワークショップとして、偏光シートを使った万華鏡の工作を親子で楽しんでもらいました。子どもたちは工作を通じて光の性質を発見し、親子で学びを共有することができました。

所要時間：1回 約30分

実施形式：少人数制ワークショップを繰り返し開催

出展体制：大阪部局横断型女性技術職員ネットワークが主体となり、大阪大学自然科学系女子学生ネットワーク asiam の協力を得て実施

3. 当日の様子

カラフルな光の模様子どもたちが歓声を上げ、科学の魅力を体感する場面が数多く見られました。保護者も一緒に制作に参加し、親子の共同学習の機会となったと考えます。また大阪大学の女性技術職員および女子学生が講師・スタッフとして関わり、地域の方々に我々の取り組みを身近に感じてもらう機会となりました。

4. 成果・効果

1. 科学への興味・探究心を喚起

偏光の性質を実体験することで、自科学への関心を高めることができた。

2. 親子で学ぶスタイルの確立

「子どもと保護者が一緒に学ぶ」ことにより、家庭での学びのきっかけを提供できた。

3. ネットワーク活動の周知

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークと大阪大学自然科学系女子学生ネットワーク asiam とその活動を、地域の親子に知ってもらう機会となった。

5. 課題と今後の展望

参加した子どもは想定よりも低学年層が多く、未就学児の参加も多数あった。そのため、光の原理や仕組みなどを詳しく解説するのは難しかった。今後は、対象年齢に応じて説明内容やアプローチ方法を工夫する必要がある。特に未就学児については、理解よりも体験を通じて「科学の楽しさ」を感じられるようにすることを優先した。活動を通して関心を育て、将来の学びへつなげる契機となるよう配慮した。今後は学年や年齢に応じて複数の説明バリエーションを準備し、「楽しさ」と「学びの深さ」の両立をめざす。

6. 総括

HANKYU こどもカレッジへの出展は、地域の親子に科学の楽しさを伝える有意義な機会となりました。あわせて大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークと大阪大学自然科学系女子学生ネットワーク asiam の活動を知っていただき、大学と地域との繋がりを強化する契機ともなりました。今後も科学体験を通じた教育普及活動を継続・発展させてまいります。



イベント当日の様子